

## 看護3年生

分野	専門分野Ⅱ		科目番号		単位数	2単位
科目名	成人看護学実習Ⅱ		授業形態	臨地実習	時間数	90時間
			開講時期	3年次通年	曜日・時限	月～金
担当教員	藤浦 和久(看護師) 他 *科目責任:藤浦 和久	実務経験	藤浦:26年			
分野	専門分野Ⅱ		科目番号		単位数	1.5単位
科目名	老年看護学実習Ⅰ		授業形態	臨地実習	時間数	60時間
			開講時期	3年通年	曜日・時限	月～金
担当教員	前島 文子(看護師) 他 *科目責任:前島 文子	実務経験	前島:31年1月			
分野	専門分野Ⅱ		科目番号		単位数	1単位
科目名	老年看護学方法論Ⅲ		授業形態	講義・GW演習	時間数	30時間
			開講時期	3年次4・5月	曜日・時限	不定期
担当教員	前島 文子(看護師)	実務経験	前島:31年1月			
分野	専門分野Ⅱ		科目番号		単位数	2.5単位
科目名	老年看護学実習Ⅱ		授業形態	臨地実習	時間数	120時間
			開講時期	3年通年	曜日・時限	月～金
担当教員	前島 文子(看護師) 他 *科目責任:前島 文子	実務経験	前島:31年1月			
分野	専門分野Ⅱ		科目番号		単位数	2単位
科目名	小児看護学実習		授業形態	臨地実習	時間数	90時間
			開講時期	3年次通年	曜日・時限	月～金
担当教員	犬丸小百合(看護師) 山口あゆみ(看護師・助産師)他	実務経験	犬丸:26年1月 山口:15年			
分野	専門分野Ⅱ		科目番号		単位数	1単位
科目名	母性看護学方法論Ⅱ		授業形態	講義、演習	時間数	30時間
			開講時期	3年次4・5月	曜日・時限	不定期
担当教員	山口あゆみ(看護師・助産師)	実務経験	山口:15年			
分野	専門分野Ⅱ		科目番号		単位数	2単位
科目名	母性看護学実習		授業形態	臨地実習	時間数	90時間
			開講時期	3年次通年	曜日・時限	月～金
担当教員	山口 あゆみ(看護師・助産師) 他 科目責任: 山口あゆみ	実務経験	山口:15年			
分野	専門分野Ⅱ		科目番号		単位数	3単位
科目名	精神看護学実習		授業形態	臨地実習	時間数	90時間
			開講時期	3年次通年	曜日・時限	月～金
担当教員	田中雅美(看護師) 前島文子(看護師) 他	実務経験	田中:25年1月 前島:31年1月			
分野	統合分野		科目番号		単位数	1単位
科目名	在宅看護学方法論Ⅲ		授業形態	講義・演習	時間数	15時間
			開講時期	3年次前期	曜日・時限	不定期
担当教員	犬丸 小百合(看護師) 安徳 秀子(看護師)	実務経験	犬丸:26年1月 安徳:27年9月			
分野	統合分野		科目番号		単位数	1.3単位
科目名	在宅看護論実習Ⅱ		授業形態	臨地実習	時間数	60時間
			開講時期	3年次通年	曜日・時限	月～金
担当教員	犬丸 小百合(看護師) 安徳 秀子(看護師)	実務経験	犬丸:26年1月 安徳:27年9月			

分野	専門分野Ⅱ		科目番号		単位数	2単位
科目名	成人看護学実習Ⅱ		授業形態	臨地実習	時間数	90時間
			開講時期	3年次通年	曜日・時限	月～金
担当教員	藤浦 和久(看護師) 他 *科目責任:藤浦 和久		実務経験	藤浦:26年		
授業の目的	目的 成人期にある対象を発達段階や健康段階の特徴をふまえ統合的に理解し、QOLに視点をあて、身体のような機能障害に応じた看護を科学的かつ創造的に実践できる能力を養う。					
授業の目標	目標 1. 成人各期の発達の特徴と課題をふまえ、対象および家族を統合的に理解できる。 2. 健康レベルに応じた看護上の問題を捉え、問題解決に向けての適切な援助が過程的にできる。 急性期の看護 1) 急激な健康レベルの低下をきたした状態にある対象を理解でき、問題が抽出できる。 2) 周手術期の対象を受け持ち、生命の安全と苦痛緩和のための援助が実践できる。					
授業の内容と方法	授 業 内 容			授業方法	学習課題	担当
	1 週 間	1. 手術室での実習を通して、周手術期にある患者の術中看護の実際を学ぶ 2. ICUでの実習を通して、急激な健康レベルの低下あるいは、生命の徴候の変化が著しい患者の看護の実際を学ぶ 3. HCUでの実習を通して、脳血管障害等により生命の危機状態にある患者の看護の実際を学ぶ ※2・3について、いずれかの実習を行う。		高木病院D7病棟、手術室、ICU・HCUでの実習	実習に関する学習と実習記録	藤浦
	2 週 間	1. 周手術期、あるいは急性期にある対象を受け持ち、看護の実際を学ぶ 1) 対象の理解 手術を受ける患者あるいは急性期の状態にある患者を受け持ち、必要な情報をアセスメントし統合的に理解する 2) 看護過程の展開 受持った患者の状態をアセスメントし、必要な援助を計画的に、かつ安全安楽に配慮して実践し、その成果を評価する過程の実際を学ぶ。 3) 手術室・ICUまたはHCUでの実習と病棟での実習を統合して、急性期あるいは急激な健康レベルの変化のある患者への看護について理解を深める				
【終了後レポート】 実習記録の提出						
評価方法	実習目標の到達状況及び実習態度等を総合的に実習評価表に沿って評価する					
テキスト	成人看護学に関するテキスト全般 系統看護学講座 別巻 臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 医学書院 看護技術関連のテキストおよびサブテキスト全般					
参考図書・参考文献など	必要時提示する。					
備 考						

分野	専門分野Ⅱ		科目番号		単位数	1.5単位
科目名	老年看護学実習Ⅰ		授業形態	臨地実習	時間数	60時間
			開講時期	3年通年	曜日・時限	月～金
担当教員	前島 文子(看護師) 他 *科目責任:前島 文子	実務経験	前島:31年1月			
授業の目的	目的 高齢者の身体的・心理的・社会的特徴と生活の場を知り、高齢者を取り巻く保健医療福祉の現状を理解する。					
授業の目標	目標 1. 老年期にある対象の身体的・心理的・社会的特徴を知り、老年期の発達課題が理解できる。 2. 老年期にある対象の特徴をふまえ、活性化に向けた日常生活の援助ができる。 3. 老年期にある対象の人格を尊重した援助ができる。 4. 加齢に伴う変化が日常生活においてどのような障害をきたしているか理解できる。 5. 高齢社会における保健医療福祉システムについて考えることができる。 6. 施設の概要を理解し、老年期にある対象がおかれている現状を把握し、看護の役割について理解できる。					
授業の内容と方法	授 業 内 容			授業方法	学習課題	担当
	1週間	介護老人保健施設での実習を1週間(30時間) 利用者を一人担当し、コミュニケーションや必要な援助を行いながら、加齢に伴う高齢者の身体的・生理的・心理的な変化の理解を深める 介護老人保健施設:水郷苑、ふれあいの里道海		実習要項参照		前島 他
	1週間	介護老人福祉施設での実習を1週間行う 利用者を一人担当し、コミュニケーションや必要な援助を行いながら、加齢に伴う高齢者の身体的・生理的・心理的な変化の理解を深める 介護老人福祉施設:永寿園、大川荘 ※介護老人福祉施設の実習中、1日をグループホームで実習する。 グループホーム:いこいの家道海、鐘ヶ江、こすもす				
【終了後レポート】 指定された実習記録の提出						
評価方法	実習目標の到達状況及び実習態度等を実習評価に沿って総合的に評価					
テキスト	ナーシング・グラフィカ 老年看護学① 高齢者の健康と障害 メディカ出版 国民衛生の動向					
参考図書・参考文献など	必要時、指示					
備考						

分野	専門分野Ⅱ	科目番号		単位数	1
科目名	老年看護学方法論Ⅲ	授業形態	講義・GW演習	時間数	30
		開講時期	3年次4・5月	曜日・時限	不定期
担当教員	前島 文子(看護師)	実務経験	前島:31年1月		
授業の目的	目的 老年看護学の看護過程と日常生活の援助が理解できる。				
授業の目標	目標 1. 老年看護学の看護過程技術が理解できる。 2. 施設における老年看護のあり方が理解できる。 3. 老年看護学実習の概要が理解できる。 4. 生活機能を支える看護について理解できる。				
授業の内容と方法	回	授 業 内 容	授業方法	学習課題	担当
	1	生活機能からみた老年看護過程①老年看護の展開における考え	講義・演習		前島
	2	生活行動情報の着眼点 6つの生活行動機能①LTD	GW	学習ノート	前島
	3	生活行動情報の着眼点 6つの生活行動機能②	GW	学習ノート	前島
	4	生活行動情報の着眼点 6つの生活行動機能③	GW	学習ノート	前島
	5	事例展開 成人看護学実習の事例を活用して ①情報の共有	GW		前島
	6	事例展開 ②看護目標の設定	GW		前島
	7	事例展開 ③援助内容の具体化	GW		前島
	8	事例展開 ④看護の実践	発表		前島
	9	事例展開 ④看護の実践	発表		前島
	10	事例展開 ④看護の実践	発表		前島
	11	健康増進プログラムの作成	GW		前島
	12	健康増進プログラムの実践	発表		前島
	13	老年看護学実習について	講義・演習		前島
	14	老年看護学実習Ⅱについて	講義・演習		前島
	15	まとめ	講義		前島
【終了後レポート】					
評価方法	レポート、試験、受講態度				
テキスト	ナーシング・グラフィカ 老年看護学② 高齢者看護の実践 メディカ出版 生活機能からみた老年看護過程 医学書院 看護過程に沿った対症看護 学研				
参考図書・参考文献など	関連する図書として、解剖生理学				
備 考					

分野	専門分野Ⅱ	科目番号		単位数	2.5単位
科目名	老年看護学実習Ⅱ	授業形態	臨地実習	時間数	120時間
		開講時期	3年通年	曜日・時限	月～金
担当教員	前島 文子(看護師) 他 *科目責任:前島 文子	実務経験	前島:31年1月		
授業の目的	<p>目的 高齢者に起こりやすい健康障害と関連する諸問題について理解し、人格を尊重した看護が展開できる基礎的技術を習得する。</p>				
授業の目標	<p>目標 1. 老年期にある対象の老化と健康障害の関連が理解できる。 2. 老年期の健康障害の特徴を理解し、健康上の問題について総合的に把握できる。 3. 老年期にある対象の生きていた過程、日常生活行動・健康状況を理解し、生活背景・生活習慣との関連から健康の維持・増進、健康障害の予防のための援助ができる。 4. 診断・治療が老年者の生体に及ぼす影響をふまえ、対象への基本的看護を理解する。 5. 看護の実践を通して、対象に与える影響について考えることができる。 6. 人生の終末期にある対象のQOLを高めるための援助ができる。 7. 家族援助の必要性を理解し、老年者のサポートシステムを考えることができる。 8. 老年期にある対象の生きてきた過程や価値観を理解し尊重した態度で接することができる。</p>				
授業の内容と方法	授業内容				担当
	4週間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院に入院されている高齢患者を一人受持ち、看護過程を展開する</li> <li>・アセスメントに必要な情報収集と情報の整理を行う。</li> <li>・対象を全人的にとらえてアセスメントし、看護問題が抽出する。</li> <li>・対象の疾病と老化、生活習慣との関連性を考える。</li> <li>・疾病が対象の生理機能に及ぼす影響を考えながら、受持ち患者の症状への看護を計画する。</li> <li>・受持った患者が受けている検査・治療・処置などについて、必要な看護の提供を行う。</li> <li>・受持った患者の残存機能の評価をして、その機能を最大限に生かした援助を工夫し、実践する。</li> <li>・人生の終末期であることを考慮した、ケアのあり方を考えながら実習する。</li> <li>・高齢患者を支える家族への援助について理解を深める</li> <li>・継続看護と関連部門・職種との連携の必要性の理解を深める</li> <li>・その人らしい生活が送れるような援助を考えて実践する。</li> <li>・老化に伴う変化(難聴、言語障害、理解力低下、視力低下)をふまえた会話をとる</li> </ul> <p>詳細の方法等は、実習要項参照</p> <p>実習施設:高木病院, 柳川リハビリテーション病院</p>			前島他、 実習配置表によつて担当
	<p>【終了後レポート】</p> <p>指定された実習記録の提出</p>				
評価方法	実習目標の到達状況及び実習態度等を実習評価に沿って総合的に評価				
テキスト	ナーシング・グラフィカ 老年看護学① 高齢者の健康と障害 メディカ出版 国民衛生の動向				
参考図書・参考文献など	必要時、指示				
備考					

分野	専門分野Ⅱ		科目番号		単位数	2単位
科目名	小児看護学実習		授業形態	臨地実習	時間数	90時間
			開講時期	3年次通年	曜日・時限	月～金
担当教員	犬丸小百合(看護師) 山口あゆみ (看護師・助産師)	実務経験	犬丸:26年1月 山口:15年			
授業の目的	小児各期の発達段階の特徴及び小児期に起こりやすい疾病や症状の基礎知識をふまえて、子どもの発達段階及び健康障害に応じた看護過程の展開を通して、小児と家族への看護実践について学ぶ。					
授業の目標	<p>目標</p> <p>1. 各発達段階にある小児の健康障害及び経過に応じた看護過程の展開ができる</p> <p>1) 小児看護における看護過程の展開について理解する</p> <p>2) 乳児期にある小児の看護過程の展開</p> <p>3) 幼児期にある小児の看護過程の展開</p> <p>4) 学童期にある小児の看護過程の展開</p> <p>5) 思春期にある小児の看護過程の展開</p> <p>2. 小児看護の実践において必要な遊びの援助ができる</p>					
授業の内容と方法	回	授業内容			学習課題	担当
	1週間	保育所実習 ① 保育園の日課に沿って、行動する。 ② 日替わりで各クラスに1日ずつ配置し、発達段階の特徴を理解する ③ クラスの保育士に指導を受けながら子どもたちに関わる ④ 実習3日目にレクを実施する			グループで保育園実習での企画を実践	犬丸 他
	1週間	小児科病棟実習 ① 病棟に入院している患儿を受け持ち看護を展開する ② 小児科外来での看護の実際を見学(一部実施)する			受持ち患儿の事例検討	犬丸 他
	1週間	重症心身障害児(療育センター実習) ① 入所している児を受け持ち日常生活の援助を行う ② センターで生活する児と遊び、楽しむ ③ 児の細かい反応を観察し、その児に適した方法での援助を実践する				犬丸 他
【終了後レポート】						
実習記録及び子どもにとって最善の利益を護る看護についてのレポートを提出						
評価方法	実習目標到達状況及び実習態度等を実習評価に沿って総合的に評価する					
テキスト	小児看護学1小児看護学概論・小児看護総論, 小児看護学2 実習要項					
参考図書・参考文献など	写真でわかる小児看護技術 発達段階からみた小児看護過程 その他看護診断に関する文献					
備考	1週間ずつ異なる施設での実習となるため、健康管理を十分に行い、欠席することの内容に注意すること					

分野	専門分野Ⅱ		科目番号		単位数	1単位
科目名	母性看護学方法論Ⅱ		授業形態	講義、演習	時間数	30時間
			開講時期	3年次4・5月	曜日・時限	不定期
担当教員	山口あゆみ (看護師・助産師)	実務経験	山口:15年			
授業の目的	目的:周産期の母子の健康状態をアセスメントし、個別的援助が出来る基礎的能力を養うとともに、対象に応じた援助を理解する					
授業の目標	目標 ①学習した知識を基に、妊婦・産婦・褥婦・新生児のペーパーベシエントによる看護過程の展開が理解できる。また、看護計画を立案することができる ②周産期における集団教育、個別教育に必要な知識を習得できる					
授業の内容と方法	回	授 業 内 容	授業方法	学習課題	担当	
	1	授業オリエンテーション、母性看護における看護過程①(母性看護における対象把握の視点)	講義・GW	随時課題提示	山口	
	2	母性看護における看護過程②(ウェルネス看護診断の考え方)				
	3	事例による情報の整理、アセスメント				
	4	実習オリエンテーション				
	5	事例による看護過程の展開①				
	6	事例による看護過程の展開②				
	7	事例による看護過程の展開③				
	8	事例による看護過程の展開④				
	9	事例による看護過程の展開⑤				
	10	事例による看護過程の展開⑥				
	11	事例による看護過程の展開の検討①	発表、検討			
	12	事例による看護過程の展開の検討②				
	13	事例による看護過程の展開の検討③				
	14	事例による看護過程の展開の検討④				
	15	事例による看護過程の展開の検討⑤				
【授業の進め方】テキストの中の事例(妊娠期初期・中期・後期、分娩期、産褥期、新生児期)の情報の整理、アセスメントを個人で行い、その後グループで看護計画の立案を行い、EPに関しては実際の行動レベルまでの計画を立案し、授業の中で発表する						
評価方法	講義演習の参加、提出物、グループワークへの参加発表、定期試験により総合的に評価					
	系統看護学講座 母性看護学(1)母性看護学概論 医学書院					
テキスト	系統看護学講座 母性看護学(2)母性看護学概論 医学書院					
参考図書・参考文献など	パーフェクト臨床実習ガイド 母性看護学実習ガイド 照林社					
備 考	積極的にグループワークに取り組むことを期待します					

分野	専門分野Ⅱ		科目番号		単位数	2単位
科目名	母性看護学実習		授業形態	臨地実習	時間数	90時間
			開講時期	3年次通年	曜日・時限	月～金
担当教員	山口あゆみ(看護師・助産師) 他 科目責任:山口あゆみ	実務経験	山口:15年			
授業の目的	目的:周産期における対象とその家族の健康上の課題を総合的に把握し、その解決に向けた看護を実践する基礎的能力を養う。					
授業の目標	目標 ①周産期の対象とその家族の人権を尊重し、倫理的配慮ができる。 ②周産期の対象を身体的・精神的・社会的側面から総合的に理解できる。 ③生命誕生に対し、受容的・共感的態度をもって対象との人間関係を築くことができる。 ④妊娠・分娩・産褥および新生児期の対象とその家族に応じた援助を安全安楽に実施できる ⑤妊・産・褥婦および新生児の対象とその家族に対して、看護を科学的根拠に基づいて過程的に展開できる。 ⑥妊娠・分娩・産褥各期の保健指導を理解し、実習グループで協力で集団保健指導を企画・実践できる。 ⑦地域社会における母子管理の実際を学び、母子保健医療チームにおける役割と社会資源の活用について理解できる。 ⑧母性・父性を取り巻く社会の変化に関心を持ち、主体的・創造的に学習し、研究的態度を身につける。					
授業の内容と方法	回	授 業 内 容	授業方法	学習課題	担当	
	1 週 間	1)外来:妊娠各期の看護の実際を学ぶ 妊婦健康診査の実施、個別保健指導見学  妊婦への集団保健指導の企画・実施(デモ)  不妊治療を受ける対象の理解—こころのらくがき帳			山口 他	
	1 週 間	1)病棟:産褥期の看護の実際を学ぶ  分娩各期の看護場面の見学、一部実施 看護過程の展開(計画・実施・評価発表)、子宮復古 や乳房の観察、看護場面の見学・実施				
	1 週 間	1)病棟:新生児の看護の実際を学ぶ  新生児の看護過程展開、ドライテクニックおよび沐浴の実施、 授乳や看護場面の見学・実施 新生児を受持ち、看護を展開する 分娩がない場合は、過去の事例を得て、展開する				
【実習の進め方】グループ内で3つに分かれ、外来・産褥期・新生児期を1週間ずつローテーションする。男子学生は必ず女子学生と組み、病床への訪室は必ず指導者または女子学生と共に行動する						
評価方法	実習目標到達状況及び実習態度等を実習評価表に沿って総合的に評価する					
テキスト	系統看護学講座 母性看護学(1)母性看護学概論 , 母性看護学(2)母性看護学各論					
参考図書・参考文献など	ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程 パーフェクト臨床実習ガイド 母性看護学実習ガイド 照林社					
備 考						



分野	専門分野Ⅱ	科目番号		単位数	2単位
科目名	精神看護学実習	授業形態	臨地実習	時間数	90時間
		開講時期	3年次通年	曜日・時限	月～金
担当教員	田中雅美(看護師) 前島文子(看護師) 科目責任:田中	実務経験	田中:25年1月 前島:31年1月		
授業の目的	目的 精神的諸問題を持つ対象を総合的に理解し、対象と家族に応じた看護を実践できる基礎的能力を養う。				
授業の目標	目標 1 精神的諸問題を持つ対象及び家族の人権・価値観を尊重し、倫理的配慮ができる。 2 心の発達と心の健康の概念を基に、対象を総合的に理解できる。 3 自己理解を深め、対象に受容・共感的態度で接し、人間関係を築くことができる。 4 対象の健康な部分に眼を向け、心の健康回復のための援助を安全・安楽に実践できる。 5 精神的諸問題を持つ対象および、家族に応じて科学的根拠に基づいて看護が実践できる。 6 対象の治療効果を高めるために医療チームの一員として協働できる。 7 精神保健医療チームの一員として他職種の人々と連携し、社会復帰に向けた社会資源の活用について理解できる。 8 精神的諸問題を持つ対象および家族を取り巻く社会背景に関心を持ち、主体的・創造的に学習し、研究的態度を身につける。				
授業の内容と方法	授 業 内 容				担当
	※ 精神疾患を持つ患者を受持たせていただき、看護過程を展開する。 ※ 集団療法や作業療法、レクリエーション・ミーティングなどに参加し、精神疾患を持つ患者との関わり方 病棟オリエンテーションを受け、精神疾患を持つ対象への関わり方や基本姿勢を学ぶ。 看護師や医師、OTなどの対象への関わり方を見学 精神科病棟に入院している対象を受け持ち、コミュニケーションをとる。 対象が大切にしているもの(こと)を把握する プライバシーの保護と安全の確保について 傾聴・受容・共感的態度での接し方を学ぶ 対人関係において、自分の言動が相手に及ぼす影響がわかる。 対人関係における自己の傾向、接し方について分析できる。 受持った患者の健康な部分を引き出す関わりを学ぶ。 精神疾患を持つ患者の安全を確保するための施設、環境を説明できる。 精神科病棟における看護師の役割がわかる。精神保健福祉法におけるデイケアセンターの意義・役割についての理解を深める 精神医療の現状や障害者への差別・偏見のない社会づくりについて考える。 実習終了後、実習の成果の発表を行う。  甲斐病院、のぞえ総合心療病院、筑水会病院のいずれかで3週間の実習 詳細は、実習要項を参照				田中雅美 他、実習配置により担当教員が指導に入る
評価方法	実習目標到達状況及び実習態度等を実習評価表に沿って総合的に評価する				
テキスト	精神保健・精神疾患;甲斐保著 精神看護学Ⅰ(精神保健学), 精神看護学Ⅱ(精神臨床看護学);ヌーヴェルヒロカワ				
参考図書・文献など					
備考					

分野	統合分野		科目番号		単位数	1
科目名	在宅看護方法論Ⅲ		授業形態	講義・演習	時間数	15時間
			開講時期	3年次前期	曜日・時限	不定期
担当教員	犬丸 小百合(看護師) 安徳 秀子(看護師)	実務経験	犬丸:26年1月 安徳:27年9月			
授業の目的	目的					
授業の目標	在宅看護における他職種との連携と訪問時の基本的態度を身につける。					
	目標					
	1. 在宅看護に携わる職種とその役割・他職種との連携及び社会資源の活用について理解できる					
	2. 既習の知識を活用し、在宅看護での感染・医療事故の防止と災害時の訪問看護師の役割について理解できる					
	3. 在宅看護における対象者個人の尊厳、個人情報保障が重要であることが理解できる					
	4. 在宅看護実習を行うための実習にむけての礼節を身につけることができる					
授業の内容と方法	回	授 業 内 容	授業方法	学習課題	担当	
	1	講義内容について(イントロダクション) 1. 他職種との連携	講義		安徳	
	2	2. 在宅看護における安全性の確保	講義		安徳	
	3・4	3. 災害時の在宅看護	講義		安徳	
		4. 対象者の権利保障				
	5	5. 在宅看護実習に向けての心構え、身だしな	講義・VTR		安徳	
		訪問看護の倫理要綱	講義			
	6	6. 関係法令	講義		安徳	
	7	記録について ※実習記録用紙について	講義・演習		安徳	
	8	在宅で行われる看護技術(※洗髪)	演習		安徳	
	終講試験					
	【終了後レポート】					
評価方法	試験及び受講時間数、態度、レポートなどを総合して評価する。					
テキスト	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論					
参考図書・参考文献など	・木下由美子編集：在宅看護論 第5版 医歯薬出版株式会社 ・山田 雅子：在宅看護実習ガイド 照林社					
備考						

分野	統合分野		科目番号		単位数	1.3単位
科目名	在宅看護論実習Ⅱ		授業形態	臨地実習	時間数	60時間
			開講時期	3年次通年	曜日・時限	月～金
担当教員	犬丸小百合(看護師) 安徳 秀子(看護師)	実務経験	犬丸:26年1月 安徳:27年9月			
授業の目的	目的 地域で療養する人々とその家族の生活上の問題を理解し、その人々が在宅で健康の維持・増進が図れるよう援助できる能力を養う。					
授業の目標	目標 1. 疾病・障害をもちながら、在宅で生活する人々とその家族を総合的に理解できる。 2. 在宅療養者とその家族の健康上の問題が理解できる。 3. 在宅療養者とその家族との人間関係を良好に保つことが出来る。 4. 在宅療養者への日常生活の援助ができ、家族(介護者)への支援の方法が理解できる。 5. 地域における保健医療福祉サービスのあり方・社会資源の活用方法が理解できる。 6. 看護師と他の保健医療福祉チームメンバーとの連携の方法が理解できる。 7. 看護に関心を持ち探究心を持って行動できる。					
授業の内容と方法	回	授 業 内 容	授業方法	学習課題	担当	
	実習前 O T	実習オリエンテーション 1) 臨地実習について 2) 在宅看護論実習Ⅱの位置づけ、目的・目標、方法 3) 実習についての学生心得 4) 実習記録について 5) カンファレンスについて 6) 週間予定表について 7) 服装について 8) 通学方法 9) 訪問かばん・体温計・手袋・酒精綿・貸し出し、速乾性手指消毒薬準備(入れ物は個人で準備)	※アネロイド 血圧計・聴 診器は各自 で持参す る。		犬丸 吉水 安徳	
臨地実習	実習1日目	実習オリエンテーション・訪問看護	[臨地実習先] ・永寿会訪問看護ステーション ・昭代訪問看護ステーション ・おおかわ訪問看護ステーション ・やながわ訪問看護ステーション		犬丸 吉水 安徳	
	実習1週目～2週目	1) 週間スケジュールに基づき訪問看護・訪問リハビリ・訪問診療(大川のみ)・ケアマネージャーレクチャー・デイサービス、デイケアの実習を行う。 2) 毎日カンファレンスを行う。 3) 実習反省会(最終日)	・高木病院デイケアセンター、高邦会デイサービスセンター ・柳川リハビリテーション病院デイケアセンター、有明デイサービスセンター			
	実習のまとめ	1) 実習記録のまとめ・グループ討議 2) 実習の学びをグループ討議・発表会				
※実習前にDVDvol1～4を視聴すること						
評価方法	在宅看護論Ⅱの実習評価表に基づき評価する。					
テキスト	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 医学書院、よくわかる在宅看護 学研					
参考図書・参考文献など	DVD:実践・訪問看護シリーズVol1～4 ビデオ:在宅看護論Vol2～4					
備考	実習前までに、事前学習課題を提出する。					